

第114回勉強会「ジオラボ」のご案内

主催:(公社)地盤工学会九州支部/長崎地盤研究会

共催:長崎県測量設計コンサルタンツ協会 後援:長崎県技術士会

日 時:平成29年12月1日(金)14:00~17:30

会 場:長崎大学文教キャンパス サイエンス&テクノラボ棟 2F セミナー室 2
(長崎市文教町 1-14、095-819-2618)

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html>

参加費:1,000円(資料代含む)

話題提供:14:00~17:00(①:14:00~15:30/②:15:30~17:00の予定)

①最近の陥没事故に思うこと

西村 和夫 先生(首都大学東京 都市環境学部 教授)

概要:福岡地下鉄七隈線延伸工事現場における道路陥没事故、そして、それを一つの契機として、社会資本整備審議会・交通政策審議会から出された「地下空間の利活用に関する安全技術の確立について」の答申が9月に出されたばかりで、今度は北陸新幹線柿原トンネルで陥没事故が発生した。これらの陥没事故の状況、また、過去の事故等も踏まえて土木技術者に感じていることを思いのままに述べる。

②熊本城の地震被害と復旧

嘉村 哲也 様(熊本城調査研究センター 文化財保護主事)

概要:平成28年に起きた熊本地震により熊本城は築城以来、最大級の被害を受けた。重要文化財建造物、復元建造物にも大きな被害が出たが、特に石垣は全国でも例がないような甚大な被害であった。被害状況を解説するとともに、被害状況の記録作業や復旧工事より分かってきた石垣の崩落状況や背面構造などより崩落パターンを解析し、今後の復旧方針を説明する。

長崎地盤研究会ミーティング:17:00~17:30 / 懇親会(忘年会):18:00~ (大波止近辺を予定)

※ご参加いただいた皆さまに、建設系 CPD 協議会(地盤工学会)継続教育参加証もしくは測量系 CPD 協議会継続教育参加証を発行いたします。

お申込みについて:勉強会へご参加の方は、配布資料の準備のため下記宛先までご連絡いただくと幸いです。(直接参加も歓迎いたします。)

なお、懇親会に参加を希望される方は11月29日(水)までに、その旨を下記宛先まで、FAXもしくはE-mailにてお申し込み下さい。

お申し込み先:長崎大学大学院 工学研究科 システム科学部門 杉本 FAX:095-819-2627 E-mail:s-sugi@nagasaki-u.ac.jp